

エリマネ ニュース

第45号

深谷台小学校エリアの広報紙

発行日：H28年5月31日

発行者：深谷台

地域運営協議会

連絡先：深谷台小学校内

地域交流室

TEL：392-5735

<http://www.dransan.jp>

地域運営協議会が今年度取り組むこと

1. 子どもも高齢者も見守り、 安心できる地域に

『高齢者の見守り』 ドリームハイツでも随分と進んできました。見守りセンターが行ってきた電力による見守り、市ハイツで動きだした住民同士の見守り。近隣で互いの顔を覚え状況も知って、さりげなく見守っている所、自治会の班で話し合っている時の手助けを頼み合っている班もあります。福祉団体は日々の活動の中でお互いを見守っています。孤独死防止だけではなく、認知症の方が一人で外に出られたときの地域での見守りも必要です。エリマネニュース 38号、39号(ホームページドリーム燦燦で見れます)では、ハイツの取り組みや周辺で見守ってくださっている方達を取り上げました。その多くの人や団体と専門家も加わり、ネットをより強固にできるよう取り組んでいきます。

見守りは子ども達にも必要

最近、いろいろな事が起こります。登下校の見守りも、外で遊んでいる時も大人がさりげなく見守ったり、一緒に遊んだり、ちょっと気になったら声をかけたり・・・そんな大人がいると安心です。このネットについても一緒に考えていきます。

同じく高齢化する大規模団地の若葉台団地は24時間見守りの拠点を創りました。その事例にも学びながら、有効に機能するセンターを目指すことができれば、という声も挙がりました。

2. 災害時の不安を取り除くには

昨年度のアンケートで不安な事のトップが「災害時のライフラインが失われた時」そして「避難」「安否確認」「家具の転倒防止」などがあがっていました。まずは情報がいきわたるように。そして準備ができない方には、手助けができるような体制づくりも求められます。既に活動している団体が更に連携を密にしていく必要がありそうです。

3. 深谷俣野地域ケアプラザの 管理運営団体と話し合います

いよいよ建設が始まり、平成29年7月にオープンする身近な地域ケアプラザ。住民が使いやすく、誰もがより安心して暮らしていくための拠点となるよう、協議会としても話し合いの機会を申し入れます。

協議会の構成団体は、市ドリームハイツ自治会、県ドリームハイツ自治会、アークプラザ戸塚自治会、深谷台小学校、同PTA、ドリーム地域給食の会、ふれあいドリーム、いこいの家夢みん、ドリームの丘、ふらっとステーション・ドリーム、ドリームハイツ地域のつどい、見守りネットセンター、地域と子どもネットワーク、深谷台アフタースクール、俣野公園プレイパーク、戸塚区役所の16団体です。

平成27年度

深谷台地域運営協議会の活動報告

1. 福祉アンケートの実施とその結果を受けた取り組みをスタート
協議会の一部門である福祉連絡会が中心になって、平成27年6月に3自治会（市・県ハイツ及びアークプラザ自治会）を対象に、地域の福祉のニーズ・資源の現状を知るためのアンケートを実施した。
その結果、日常不安に感じていることは、災害時の対応等が最も多かった。
人的資源については、住民のゴミ出しなど「小さなお手伝い活動」への協力申し出が多く、住民同士の助け合いの気持ちが強いことがはっきりした。
それを受けた話し合いで、ボランティアバンク・えんが窓口になり、困っている人と協力者をつなぐコーディネートがスタートした。
住民が最も不安を感じていた『災害時の対応』については、28年度に引き継ぐことになった。
2. 深谷台アフタースクール
28年1月時点での登録児童数は148名、延参加者数は2652名で、日々の努力が成果として出ているとのことであった。
3. 毎月開かれる定例協議会では、各団体や地域周辺の情報交換を中心に行った。
4. エリマネニュースを39号から44号まで発行し、深谷台地域と関係機関に配布した。

深谷台地域運営協議会 平成27年度決算報告

<収入>

科目	金額
横浜市戸塚区より助成金	850,000
県ハイツ自治会より助成金	100,000
市ハイツ自治会より助成金	60,000
アークプラザ自治会より助成金	20,000
広告料	48,000
印刷機使用料	31,960
雑収入・前年度繰越金他	185,499
収入合計	1,295,459

<支出>

(単位:円)

科目	金額
エリマネニュース発行費	215,888
協議会・委員会会議費	194,500
印刷費	126,919
アフタースクール	250,000
活動・研修関係費	131,257
その他	151,247
次期繰越金	225,648
支出合計	1,295,459

絵本の会「夢の絵本箱」を通して見てきたこと

昨年5月から始めた絵本の会ですが、今年になってようやく「夢の絵本箱」と名前が決まり、今年からは月一回の開催を続けていける事になりました。お力を貸して下さい、夢みんの皆さま、ぽっぽの家の皆さま、夢の絵本箱に来て下さっている方々にこの場を借りてお礼申しあげたいと思います。

会では各自持ち寄った絵本の魅力を話すことが主となりますが、会員は現在約30名。来て下さる方は子育て中の母親が2/3くらいを占めています。お母さんと来た赤ちゃんから小学生までの子どもたち、おじいちゃん、おばあちゃん世代までいて場は賑やかです。子どもは隣でおもちゃや折り紙で遊んで待っていることもできます。

そんな中こんなことがありました。お母さんと来た4歳の女の子が自分の選んだ絵本を自分で紹介したいというのです。大人に混ざって椅子に座り、「私がこの絵本を大好きなのは…」と立派に紹介しました。子どもも大人もそれを聞き拍手がおこりました。

お母さんが紹介している絵本の話に耳を傾けて自分も紹介しているような気になって、一緒に頷いている子、気になる絵本を食い入るように見る子を見て私は幸せいっぱいになります。自分の母が選んだ本に関心の無い子はいないのではないのでしょうか。その母の言葉に皆が頷き、関心を持って聞いています。皆が絵本という大きな庭で心ゆったりと誰

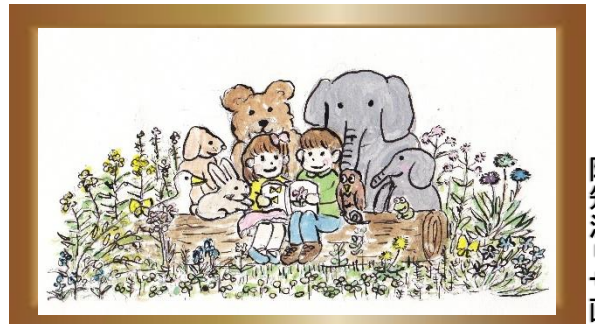
も知らないその人の心の庭を見せてもらっているかのようです。

絵本は子どもと大人を繋げる力を持っていて、みんなを包み込むような愛にあふれています。それは人と人がかかわり合う中で最も伝える事の難しいことを簡単にやってのけるのです。

生身の人が絵本を読む、読み聞かせるということは、分からない事を聞いたり、立ち止まって考える事ができ、想像力も存分に使うことができます。その力は人とコミュニケーションをとる時に必要な力になり、その人の大切な宝物になるでしょう。

人は人の心の中に自由を感じ、人に認められることがその人の自己肯定感を育てます。そういった事を「夢の絵本箱」の会の中で私自身が強く感じていて、皆に支えて頂いている事を深く感謝しながら活動を続けています。

阿知波リサ 43歳



阿知波リサ画

私のターニングポイント②

～それぞれのタイミング、きっかけはあの日から～

私の場合は、大学生から社会人になつたり、家族が天国に旅立ってしまったたり、と、いくつかのターニングポイントがあった。一番は、長年勤務したアメリカ資本の化学メーカーを辞めて企業との縁を切った時。つまり、会社員から一旦無職になった時。これまで、どれほど会社名と地位に依存していたんだろうかと感じた。暫くは、自分が敗者になって勝手に惨めな気分浸っていたけれど、過去と未来に対しては何もできないけれど、今、この瞬間、生きていくことを感じて、同じ時間に生きている方達と助け合えれば、と思う。



若い世代の声②

今年高校生になった。私がハイツに来たのは生後二ヶ月の時。幼い頃から過ごしたこの場所にはいろいろ思い出がある。自転車補助輪なしで練習したり、おつかいに行ったり、小学校や中学校まで道のり、友達と喧嘩した公園など思い返すと懐かしいばかり。でもいまは今までとは違う思いがある。最近のニュースをみると九州地方の地震ばかりだ。地震と聞くと5年前の東日本大震災を思い出す。今でも家に帰れない人もいる。5年たった今、あの時の気持ちや東北の姿を忘れていたと感じた。朝起きておはようと言いい学校に行ける、お腹いっぱいにご飯を食べられるこの毎日がどんなに幸せなのか改めて考えなおすことができたら。朝学校に行き、そして地元であるハイツに帰ってこれる。そんな日々を大切に生きたい。

今ここにいること

近藤実夏

シリーズ 防災 ①

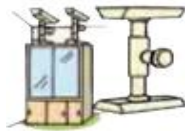
災害 事前の備えを怠るまい！！
出来ることから今すぐに

1. 家具の固定で転倒防止対策をしていますか？

◆金具



◆突っ張り棒



◆粘着マット・粘着ベルト



2. 収納や置き方を工夫する

◆出入口に物を置かない。 ◆重いものを下方に収納する。 ◆高いところに物を置かない。

3. 扉や引き出しが開かないように、止め金具を付ける。

4. 扉の無い棚には、落下防止のために滑り止め用のシートを敷く。

5. 窓や食器棚にガラス飛散防止フィルムを貼る。



被災地の皆様の一日も早い復興を願っています

♪ぽぽら♪へどうぞ

～心の病をもっと身近に～

ふらっとステーション・ドリームでは、毎月第1土曜日の12時～14時に「フリースペース・ぽぽら」を開き居場所としています。ランチと一緒に食べ、お喋りや歌、体操や散歩、畑で野菜作り、クッキング、音楽ワークなどを楽しんでいます。

病気の方も、そうでない方も関心のある方は自由にご参加ください。普通の日常会話に冗談も交え話すうちに、仕事の話や病気の話もできるようになりました。ぽぽらでやりたいことも積極的に出てきます。互いに分かりあえると、その場が一層楽しい場になります。

隔月には、専門家、支援者、当事者の方の話しを聞く「学習会」も行っています。

連絡先 ふらっとステーション
(307) 3558 (松本)

— あとがき —

前号の『若い世代の声』に多くのご意見をいただきました。「あまり読んでいない」と言われていた世代からの反響が大きく、同じく好評だった『ターニングポイント』と合わせて、一画をシリーズとすることにしました。また、昨年度のアンケート結果で「不安だ」と言う声が多かった『防災』について、シリーズでお知らせを載せることにしました。まずは身の周りから (和)



医療法人社団 白百合会
戸塚白百合クリニック
TOTSUKA SHIRAYURI CLINIC

- 夜8時まで診療しております。
 - 訪問診療やっております。
- お気軽にお電話ください。

横浜市戸塚区俣野町416
(シニアフォレスト横浜戸塚1F)
☎045-435-5577



広告

ヘアーサロン

さんけい

〈定休日〉
毎週月曜、
第1、第3火曜日

環状4号線、下和泉信号そば

女性、男性の
カット、顔そり
パーマ、カラーなどなど



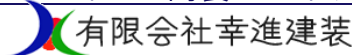
TEL 045-801-8676 P有り
お気軽にお電話ください (予約優先)

お住まいの塗装・リフォーム

15の機能性断熱塗材—**ガイナ**

☑冷暖房の効率アップ ☑防音 ☑消臭 ☑防露

マンションの内装にガイナがお勧めです



住所 横浜市戸塚区俣野町1366
電話 045-852-7005

🔍 幸進建装で検索

